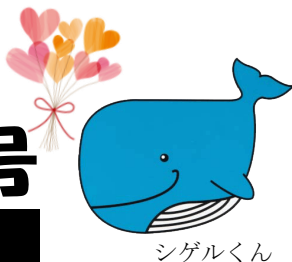
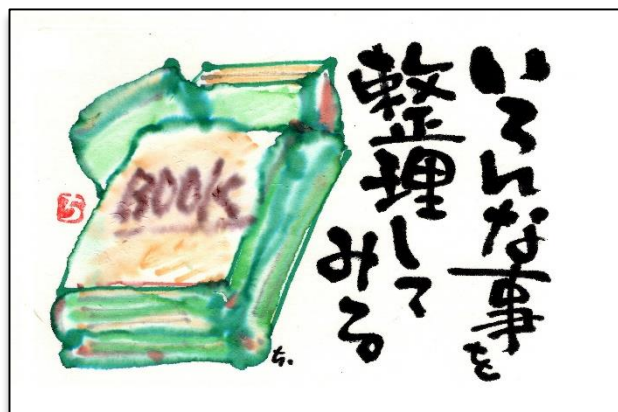


シゲルくん通信

2020年
2月号
NO. 82



こんにちは 防水工事の茂興業 社長の高橋英樹です。
新潟市は2月になりましても、暖かい日が続いています。
これから、畑の準備です。2月14日のバレンタインデーにはチョコレートでいっぱいです。
今月は各部門別の年間計画会議が開かれ来年度の目標が決定します。4月18日の経営計画発表会に向けて、打合せの日々です。「建物超寿命化支援企業」を旗印として進みます。



【整理・整頓・清掃のススメで効率アップ、売上アップ】
2月は3S(整理整頓清掃)を強化してみようと思います
・整理...要るものと要らないものの分けをはっきりさせて、要らないものは撤去すること
・整頓...必要なものを、必要なときに、効率よく取り出せるようにすること
・清掃...職場のゴミをなくし、汚れのないきれいな状態にすること

▲文・絵：ことだま遊書@作家：ことだま千絵子

ホテルイタリア軒にて「2020年度営業部年間計画会議」を行いました



▲高橋社長より、2020年度 決意表明を発表

2月1日、ホテルイタリア軒にて「2020年度営業部年間計画会議」を行いました。営業部で掲げた年間目標を確認し、個々の営業マンの決意表明をしました。



2020年12月に茂興業は、創業55周年を迎えます。良き御縁をいただき当社を支えていただいた沢山の皆様に感謝の気持ちと、これから先の50年を見据えた、未来に向かう茂興業を見ていただきたいという思いで55周年記念イベントを開催致します。次月号より詳細な情報を随時発信して参ります！



▲年間計画会議の様子



▲55周年企画イベント計画中です。是非ご期待下さい。(近藤)



▲2級建築施工管理技士に合格しました。これからも頑張ります！(三ヶ月)

☆シゲルくん通信の第82号をお届けします。次回のお役立ち情報をお楽しみに☆



連載第22回 今月のテーマ『心に残るアカデミー主演男優賞』



★毎月掲載している挿絵はこちらからどうぞ。インスタ始めました。



こんにちは(^^) 自称、茂興業内で一番の映画好き、増村文武です。今月もテーマに沿っておススメの映画を御紹介させていただきます(^^)

さて、先般第92回アカデミー賞授賞式が開催され、ポン・ジュノ監督の韓国映画『**バラサイト 半地下の家族**』が作品賞他複数賞を獲得! 快挙ですね。同監督作品である私おススメの『**スノーピアサー**』は連載第8回にて御紹介しておりますので御興味があればチェックしてみてください。ということで今回はアカデミー賞関連第一弾『**心に残るアカデミー主演男優賞**』と題しまして、過去の受賞作品において主演男優が印象深かった3作品を御紹介致します(^^)

★今月のイラスト⇒

(もうすぐ春! 『外歩きしたくなるスニーカー』)

① 『英国王のスピーチ (2010年 英・豪・米合作映画) 第83回アカデミー賞主演男優賞』

作品賞、監督賞、脚本賞、主演男優賞の4賞を受賞。この映画を観て、初めて吃音(きつおん)症なる病気を知りました。吃音症とは、言葉が円滑に話せない、スムーズに言葉が出てこない症状とのこと。イギリス国王・ジョージ6世が、妻のエリザベス妃や言語療法士と一緒に吃音症を克服し愛される国王になるまでを描いた、実話を映画化した作品。主演は私大好きな英国紳士俳優、コリン・ファース。『**キングスマン**』シリーズの最強テイラー戦士の彼ですね。すっと感情移入ができて素直に感動できる一本です(*^^*) ちなみにジョージ6世は、現存のエリザベス女王のお父様にあたります。

② 『レヴェナント 蘇りし者 (2015年 アメリカ映画) 第88回アカデミー賞主演男優賞』

レオナルド・ディカプリオがアカデミー賞5度目のノミネートにして、初めて主演男優賞を獲得した力作。舞台は19世紀前半のアメリカ北西部の極寒地帯。実在の罅猟師ヒュー・グラスの伝記に基づく実話をモチーフにしています。子連れの熊に襲われ瀕死の重傷を負った上に仲間にも裏切られたディカプリオ演じる毛皮ハンター。一命を取りとめた主人公は、その後壮絶なる復讐と追跡の旅を開始します。かたき役『**ヴェノム**』『**新マッドマックス**』の硬派なトム・ハーディが、主人公の復讐の理由を増大させるに足りうる好演技。坂本龍一の音楽も、魔物のような極寒の森の風景に実に印象深くマッチング。ディカプリオの鬼気迫る演技に、思わず握った拳から冷や汗がどっと湧き出る力が入る一本です(๑)

③ 『ジョーカー (2019年 アメリカ映画) 第92回アカデミー賞主演男優賞』

アクション映画でもスリラー映画でもなく、これは人間ドラマですね。バットマンシリーズの好敵手である狂気の天才ジョーカーはなぜどのように誕生したのか。過去のバットマンシリーズとは明らか一線を画す、悲しさと美しさを合わせ持った物語と映像美。社会が構造的に歪み、富裕層と貧困層の格差が鬱積したダークなゴッサム・シティを舞台にして、アーサー・フレック=のちのジョーカーを演じるホアキン・フェニックスの、純粋で優しく繊細かつ少しづつ少しづつ狂気が開花していく強烈な演技に目がはなせません(๑) 後にバットマンとしての使命を背負う幼少期のブルース・ウェインも登場し、ジョーカーとの宿命的な因縁の理由も明かされます。TVの有名司会者役を演じる大御所名優ロバート・デ・ニーロの、劇中での“あつかい方”にもびっくり(๑)

もし御興味が湧いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_^)☆

★人生企画書を作成しました★

茂興業本社で「私のロードマップ2020」と題して、人生企画書を作成しました。

「2020年度の目標(やりたいこと・欲しいもの)」「5年後になりたい私」をロードマップに書き込み、自分の目標を再確認しました。ロードマップのテーマでは、「健康」「プライベートを充実」「楽しく」のキーワードがありました。



▲高橋社長より、人生企画書作成講座



▲人生企画書作成中～♪♪



▲人生企画書を書き終えて(#^_^#)

皆様に支えられて、おかげさまで55周年!!

★『建物超寿命化支援企業』の茂興業(株)がお客様の大切な資産を守ります★